

谷塚駅西口地区 まちづくりニュース

令和5年11月

発行：谷塚駅西口地区まちづくり権利者協議会
草加市都市整備部都市計画課



TOPIC

令和5年度第1回谷塚駅西口地区まちづくり検討会を開催しました！

令和5年9月30日（土）に、まちづくり権利者協議会と草加市の共催によるまちづくり検討会を開催し、まちづくりや都市基盤整備の方向性等について、参加者の皆さまと話し合いを行いました。当日で説明した内容の要点については、中面 (p2-3) をご覧ください。

参加者の方から出された主なご意見

まちづくりの方向性について

- ・商店街も大事にしたまちづくりを進めて、若い世代も含めて多くの人が集まるようなまちが良い。
- ・まちづくり用地での社会実験の実施については、SNS等も活用して広く周知を図ってほしい。

都市基盤整備の方向性について

- ・交通量調査の結果も踏まえ、草加市としての道路整備の方向性を提示してほしい。
- ・小学校通りには歩道もなく、通行に危険があるため、安全に歩けるための対策を検討してほしい。

INFO

今後も引き続きまちづくり検討会を開催します

次回は、令和5年12月9日（土）に開催予定です。

会場：谷塚文化センター 第1・第2学習室 時間：午前10時から正午まで

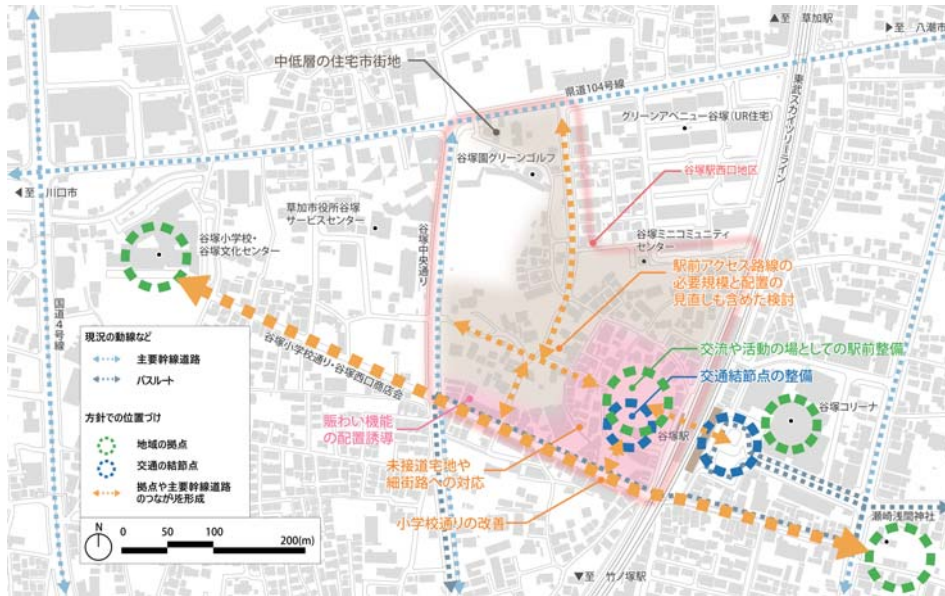
主な議題：交通状況の分析結果、導入機能・事業手法の検討、西口地区まちづくり用地の社会実験の結果、サウンディング調査の中間報告

1 まちづくりの方針（案）

まちづくり構想図（案）

これまでの検討内容や昨年度実施した意見収集の結果等をもとに、谷塚駅西口のまちづくりの方針として、構想図（案）を取りまとめました。主なポイントは以下のとおりです。

- ①小学校通りをまちの軸として重視し、歩行者の安全性・快適性の向上を図ること
- ②駅前には交通結節点の整備だけでなく交流や活動の場（＝谷塚西の顔）づくりを進めること
- ③地区内の道路基盤（利用しやすい宅地）の整備を進めること



まちづくりの方針検討

まちの骨格となる都市計画道路や駅前広場等の都市基盤について、1971年（昭和46年）の都市計画決定当時の社会情勢の変化等を踏まえて適切な設計を行うため、整備パターン及び必要面積の検討を行いました。

都市計画道路の整備パターン検討

整備の効果や、費用面・整備期間面での課題等について比較を行いました。今後、交通量調査の解析や社会実験等も踏まえながら整備する案を決定していきます。

| | 現都市計画案 | 谷塚西口寿町線延伸案 | 谷塚小学校通り拡幅案 | 区画道路5号線拡幅案 |
|----|------------------------------|-----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 評価 | ・都市計画変更が不要 ・整備費用が比較的小さい | ・整備費用が比較的小さい | ・バスルートの変更が不要 | ・道路面積が小さい |
| 課題 | ・道路面積が大きく、市街地が分断されてしまう可能性がある | ・都市計画変更が必要となり整備期間が伸びる | ・都市計画変更が必要となり整備期間が伸びる ・整備費用が比較的大きい | ・都市計画変更が必要となり整備期間が伸びる ・整備費用が比較的大きい |

駅前広場の必要面積

都市計画決定時に用いられた計算方法は、簡易に計算できる反面、各駅ごとの違いが考慮できないという問題がありました。そこで、谷塚駅や周辺の特徴に合わせた算定を行うと、計算上は現在の都市計画決定面積の約半分という結果になります。今後、バス事業者や警察等の意見や交通量調査の解析等も踏まえて検討していきます。

都市計画決定時に用いられていた計算方法

現在用いられている計算方法

必要面積

駅前広場面積＝
係数 × 乗降客数
で大枠を計算
→都市計画決定
約 4,000 m²

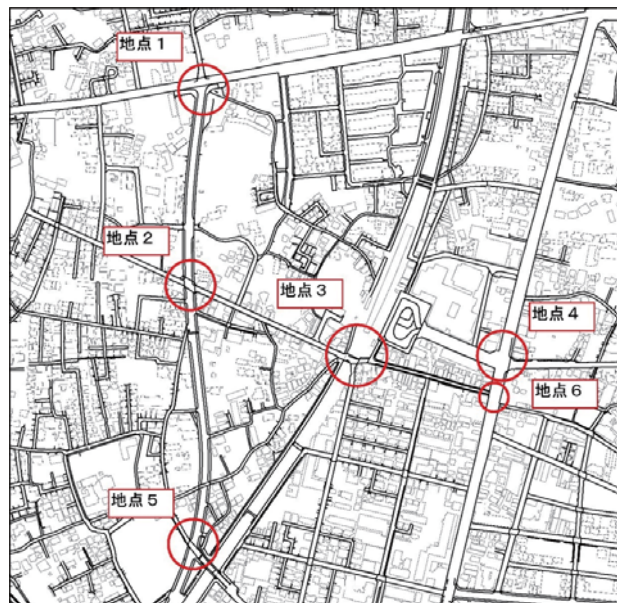
拠点機能
景観
防災
サービス
交通空間
(歩行、車、バスなど)

駅前広場面積＝
交通だけでなく、駅前に必要な要素ごとに細かく積み上げ
→計算上は
約 1,800 m²

※あくまで計算上の目安としての数値であり、設計段階で面積増減が生じる場合があります。

2 交通量調査

道路や駅前広場の検討のため、令和5年7月7日(金)・9日(日)の7時～19時に交通量調査を実施しました。調査項目は、①自動車交通量調査、②歩行者交通量調査、③信号現示調査、④道路現況調査の4つです。



交通量調査実施地点

【調査結果について】

■自動車交通量

- ・平日のピークは17時台、休日のピークは11時台
- ・川口草加線は交通量が多く、先詰まり等が原因で渋滞する時間帯もある
- ・小学校通りの交通量は東向き・西向きともに同程度(約1,300～1,500台/12h)
- ・東口駅前広場から小学校通りへの流入は約1,000台/12h
- ・全ての調査地点で交通容量以下の交通量であった

■歩行者交通量

平日の方が歩行者が多い(小学生・通勤通学者等と予想)

【今後について】

- ・交通量調査の結果をもとに、都市計画道路や駅前広場の整備による交通への影響を検証します。
- ・自動車交通の利便性を確保しながら、歩行者に優しい交通体系のあり方を検討します。

3 まちづくり用地での社会実験

地域の方々や駅前を利用する方の意見や利用実態を把握するため、西口地区まちづくり用地に期間限定(令和5年11月19日～令和7年3月31日(予定))でベンチや人工芝等の滞留空間を設置する社会実験を行います。

実験期間中は、まちの課題やニーズ等に関する利用者へのアンケート調査や、利用のされ方に関する観察調査等を実施し、その調査結果を駅前整備の内容へと反映させていきます。

構想・計画の事業化検討

- 道路や駅前のハード検討
- 必要な機能の検討
- 事業手法の検討
- 活用イメージの検討

適切な計画が
検証し、実験
結果を反映

まちづくり用地での社会実験

- 地域の方々や利用者の声の把握
- 交流・文化を育む企画者の声の把握
- まちづくりの動きの周知、機運情勢
- まちづくりを担う人材の発掘

まちの課題やニーズを反映し、整備方針を取りまとめ



まちづくり用地位置図



滞留空間の設置イメージ。

ベンチやイベント時のステージ等として、様々な使い方をすることができます。

今後の進め方

次回のまちづくり検討会では、交通量調査の分析結果や、民間開発事業者へのヒアリング調査等の結果を踏まえた基盤整備や事業の方針についてご報告します。

検討会の主な議題

草加市の主な取り組み内容

R5 年度

- 第2回：12月9日開催予定
- 交通状況の分析結果
- 導入機能、事業手法の検討
- まちづくり用地の社会実験の結果
- サウンディング調査の中間報告

- 交通量調査の解析、交通事業者・警察等との協議
- 開発事業者のニーズ把握
- 空間利用者のニーズ整理・分析（まちづくり用地の社会実験時把握）
- まちづくり構想の事務局案の作成 等

- 第3回：令和6年3月開催予定
- まちづくり構想（市としての整備の基本的な考え方をまとめたもの）の取りまとめに向けた検討状況の報告

R6 年度

まちづくり基本計画（市としての整備の実施方針をまとめたもの）の取りまとめ

TOPIC まちづくり用地での社会実験とタイアップしたイベントが開催されます

マルシェイベント「マルシェエキマエ谷塚」

日時：令和5年11月19日（日）

10時から16時まで

会場：谷塚駅西口地区まちづくり用地

当日は、草加市内外からの素敵な出店者さんが出店するほか、谷塚駅西口のまちづくりに関するパネル紹介やアンケート調査等も行う予定ですので、ぜひお越しください。



イベントチラシ



イベントの詳細はこちらの特設ページをご覧ください。

<https://sokalocal.com/1119marcheekimae/>

【問合せ先】

谷塚駅西口地区まちづくり権利者協議会事務局

草加市役所 都市整備部 都市計画課 まちづくり推進係 町田、益子、萱沼、高谷

〒340-8550 草加市高砂一丁目1番1号

電話 048-922-1802（直通） FAX 048-922-3145

E-mail toshikeikaku@city.soka.saitama.jp



QRコードを読み込んでいただくとメールが送付できます